



一般 質問

令和3年度 9月定例会

## 災害復旧を急げ

景山 登美男 議員



### Q 避難の援助を

7月12日の豪雨の際、13箇所へ220人余が避難した。避難した人の中には、どうやって避難すればいいかわからなくて困ったという声が多数あった。

以前、避難行動要支援者について質問した際に、いざという時に行動できるような定めておくことは重要だとの答弁があったが、現在の状況は。

町は避難指示を発令するだけでなく、避難の援助を考えてほしいとの意見が多くあったが、町長の考えは。



豪雨による災害(広域農道)

### A セーフティネットを構築

町長塚原隆昭

避難行動要支援者をだれが支援するかについては、一部の自主防災組織では決められているが、取り組まれている地区がある。

避難にどのような支援が必要かを日頃から考えておくこと、それを自治会の中で共有しておくことが重要だ。

安心・安全なまちづくりのための強いセーフティネットを構築したい。

### Q 災害復旧を最優先に

町長塚原隆昭

7月から8月の豪雨では、公共災害、農地・農業用施設災害、林地崩壊など520件余、36億円を超える被害があった。これだけの災害復旧となれば、あらかじめ優先順位を決めて発注すべきと思うがどうか。

公共工事においては、工事現場ごとに現場代理人及び主任技術者等の配置が必要となっている。現場代理人は工事現場に常駐することを義務付けられているが、迅速に災害復旧工事を実施するために、こうした兼務制限を撤廃するなどの特例措置を考えるべきではないか。

現在未発注の工事は、災害復旧工事を優先するため今年度の発注はやめるべきではないか。

災害復旧を最優先で進めるべきであると考えるがどうか。

### A 緊急性

高いものから

公共土木災害については、緊急性の高いものを優先する。農地・農業用施設災害については、来年の作付けに極力支障が出ないよう努力する。

現場代理人および主任技術者の兼務制限の緩和は、県と協議しながら対処したい。

今年度の公共工事は、これまで順調に発注している。すでに発注している事業の中止は考えていないが、繰越で対応することを検討したい。残りの未発注工事の発注については検討中である。

災害復旧を最優先に取り組み、効率的な復旧工事が進められるよう発注する。

## 安全確保の検証を

内藤 眞一 議員



### Q 災害対応の反省点は

7月12日の降雨出水で、「警戒レベル5の緊急安全確保」は、何を根拠に発令したのか。今年5月の「災害対策基本法」改正により、連絡先の届け出をし、近くの安全な建物等または親戚・知人宅へ避難してもよいとした。町民に周知されているのか。

避難情報は自治体で発令できると思うので、早めに対処することが望ましい。この度の災害対応における反省点と復旧はいつになるかわせて聞う。

### A 多くの課題を認識

町長塚原隆昭

「緊急安全確保」の発令は、町や消防団のパトロールからの状況報告、加えて町民からの色々な情報により、緊迫した状況が続くようでは安全に避難できないと判断し、ただちに身の安

全を確保してもらうため発令した。

町民への周知は、4月に「飯南町防災のしおり」と「ハザードマップ」を各戸配布した。

反省点として、この内容を6月の防災訓練で周知する予定だったが、中止となり、充分周知できていない。今後自治体単位での避難訓練を実施し、警戒レベルの周知徹底に努める。その他に、避難所の運営、道路状況の把握と情報発信、防災士の活用等さまざまな課題があったと認識している。

災害復旧は、基本的に発生した年を含め3カ年だが、被害が大きいため優先順位や建設業者との調整も必要になる。



飯南町防災のしおりとハザードマップ

### Q 町民の安全どう守る

災害時の情報提供の手段として、防災無線のほか告知放送などで情報周知がなされた。ただし、電気が遮断された状況ではどうであったか疑問がある。

以前、橋脚へ目印をいれる提案をしたがどうなっているのか。

### A 専門部署を設置し対応

町長塚原隆昭

告知放送は、電池があれば放送を聞くことができるので、適切な管理をお願いしたい。

橋脚への危険ラインの設置については、手続きが複雑で進んでいない。

多様化・激甚化する災害への対応として、危機管理体制が一層求められることから「防災危機管理室」を設置した。専門部署として職員一丸となり、いかなる災害にも迅速かつ的確に対応できるように準備していく。



新設された防災危機管理室